

## 2013年度 ベンチャーキャピタル等投資動向調査結果

### (速報)

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

2013年度ベンチャーキャピタル等投資動向調査の結果(速報)を取りまとめましたので、お知らせいたします。

当調査は、2012年4月から2013年3月末までの期間のベンチャーキャピタル(VC)による投融資状況について調査を行ったもので、2013年7月から2013年9月までの調査期間に90社から回答を得ました。

#### 《概要》

1. 2012年4月から2013年3月末までの間に、行われたベンチャーキャピタル(VC)等によるベンチャー企業への投資額(投融資額)(図表1)は、1,026億円、投資先数(投融資先数)は824社であった。2011年度に比べると投資額(投融資額)は17.3%の減少、投資先数(投融資先数)は19.0%の減少となった。

本調査においては2006年度(投融資額2,790億円)以降、2007年度(1,933億円)から3年連続で投融資額は減少し、リーマンショックの翌年度の2009年度には1,000億円を割り込んで875億円にまで落ち込んだ。その後2010年度以降2011年度まで緩やかな回復をしてきたが、2012年度は再び減少したことになる。リーマンショック以降ファンドの組成環境は厳しく新規投資資金確保が容易ではなかったこと、リーマンショック以前に組成されたファンドを原資とする投資は2011年頃までにほぼ実行されてしまったこと、ベンチャー投資を行うVCの数の減少等が要因としてあげられている。

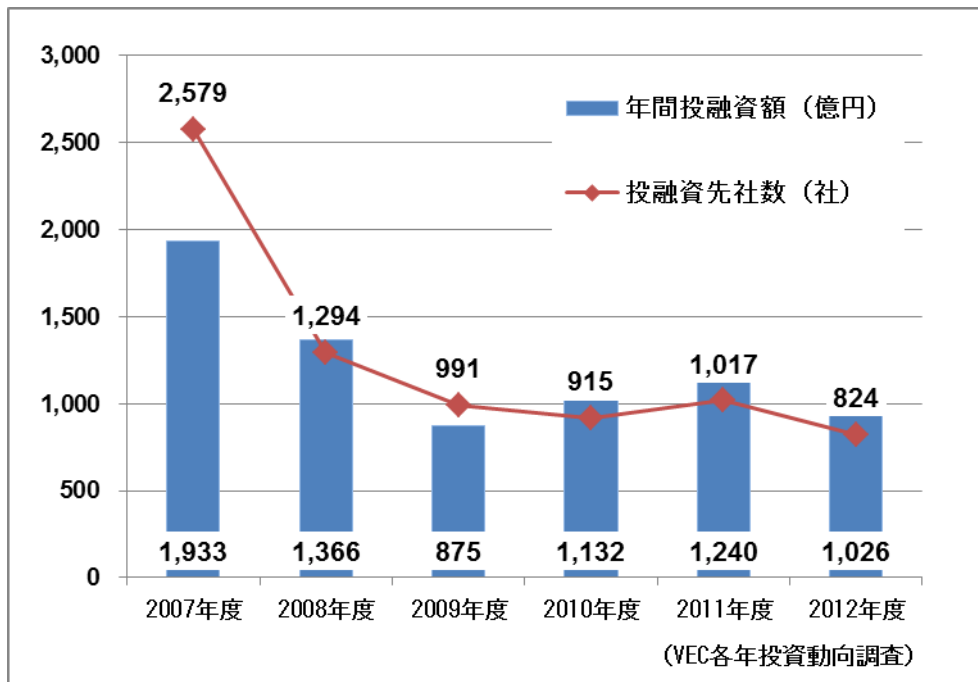
2. 新規ファンドの設立(図表2)についても、2012年度は26本で1,036億円と2011年度と比べるとファンド組成金額で13.5%減少し、本数では5本減少した。そこで、中小企業基盤整備機構からのファンド出資額は2011年度同様に、大きな存在感を示している。

3. 日本のベンチャー投資の業種別、ステージ別動向を金額ベースで見ると(図表3、図表4)、2012年度はIT関連分野単独で、投資シェアは59.5%に達し、バイオ関連/医療/ヘルスケア分野の11.9%を大きく凌駕している。

ステージ別動向では2012年度のシード+アーリーが57.8%に達し、前年度(同44.3%)から一層伸びている。今やベンチャー投資の中心はシード、アーリー投資と言えるようである。

4. 米国(図表5、図表6)においても2012年(暦年)のベンチャー投資金額は267億ドルと2011年の295億ドルに比べると9.5%減少している。米国のファンド組成額も2012年は201億ドルと2011年(193億ドル)に比べ横ばいに留まっている。

図表1 年間投融資額の推移



(注) グラフ中の数値は各年調査の単純集計による

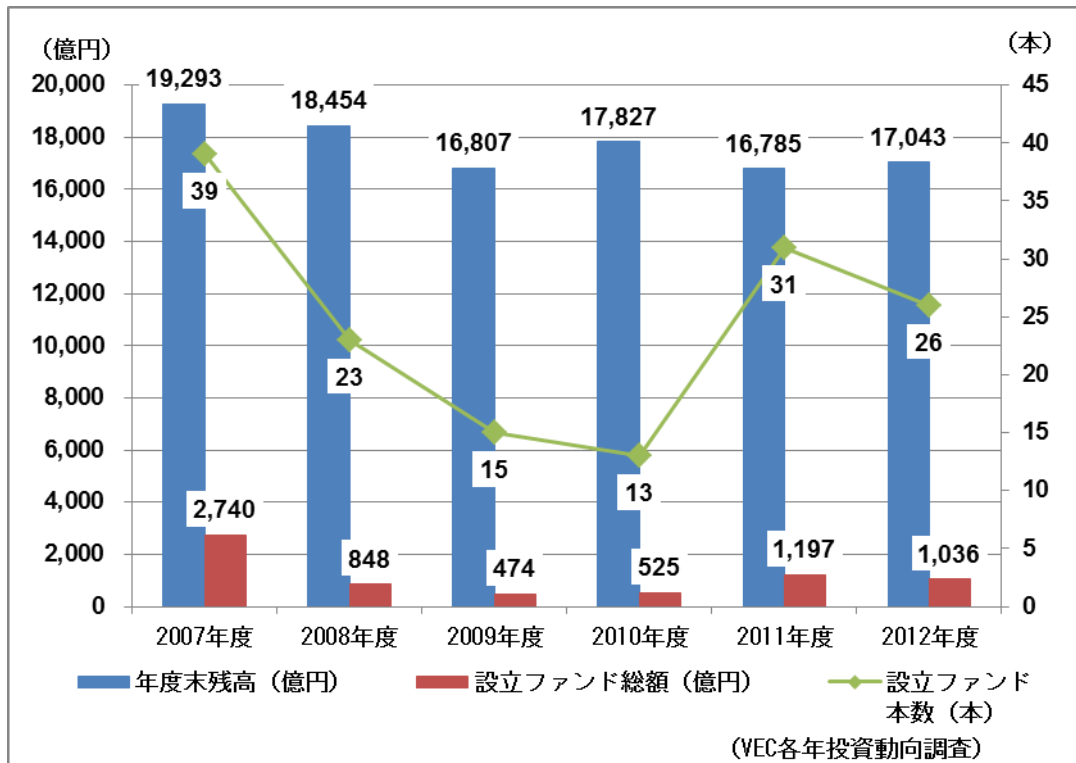
(参考)

	投融資金額 (億円)	社数 (社)
2007年度	1,933	2,579
2008年度	1,366	1,294
2009年度	875	991
2010年度	1,132	915
2011年度	1,240	1,017
2012年度	1,026	824

(注1) 投融資額、社数はVEC各年投資動向調査の単純合計による

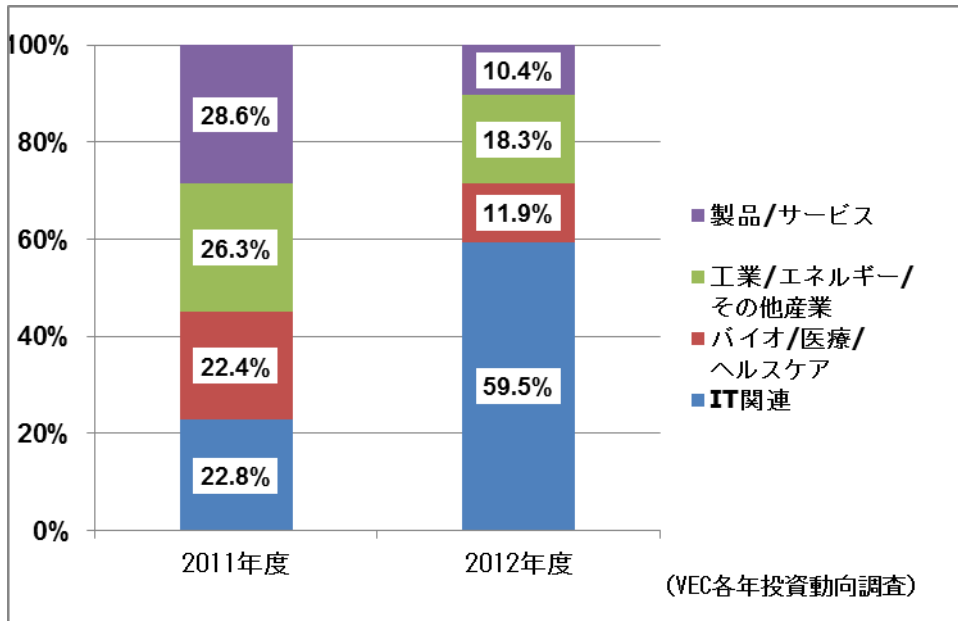
(注2) 産業革新機構については公開資料に基づく金額・社数を適用

図表2 ファンド総額、ファンド組成数、ファンド組成金額の推移



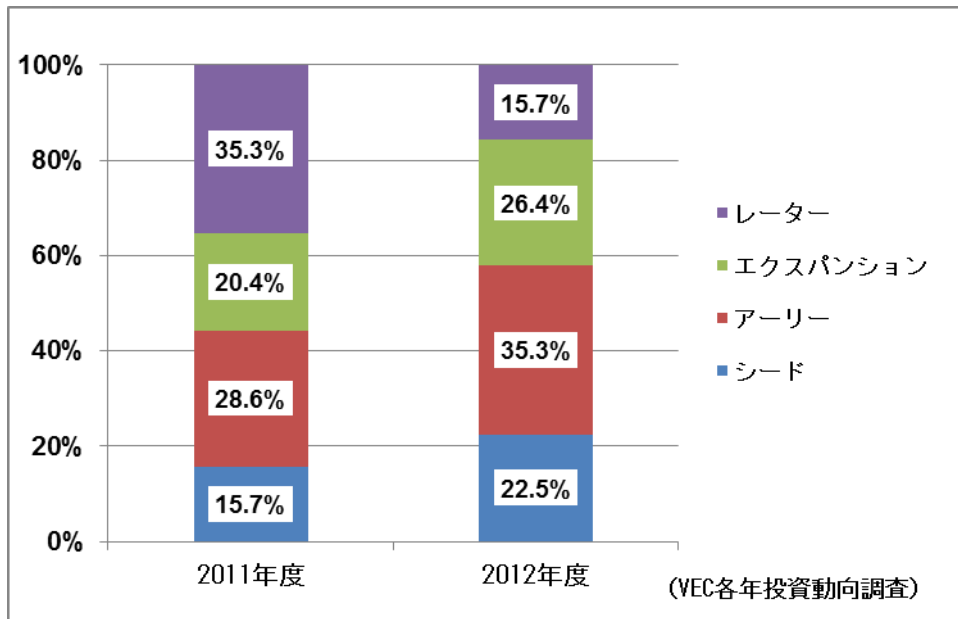
(注) グラフ中の数値は各年調査の単純集計による

図表3 新規および追加投資先金額の業種別構成比の変化（金額比率）



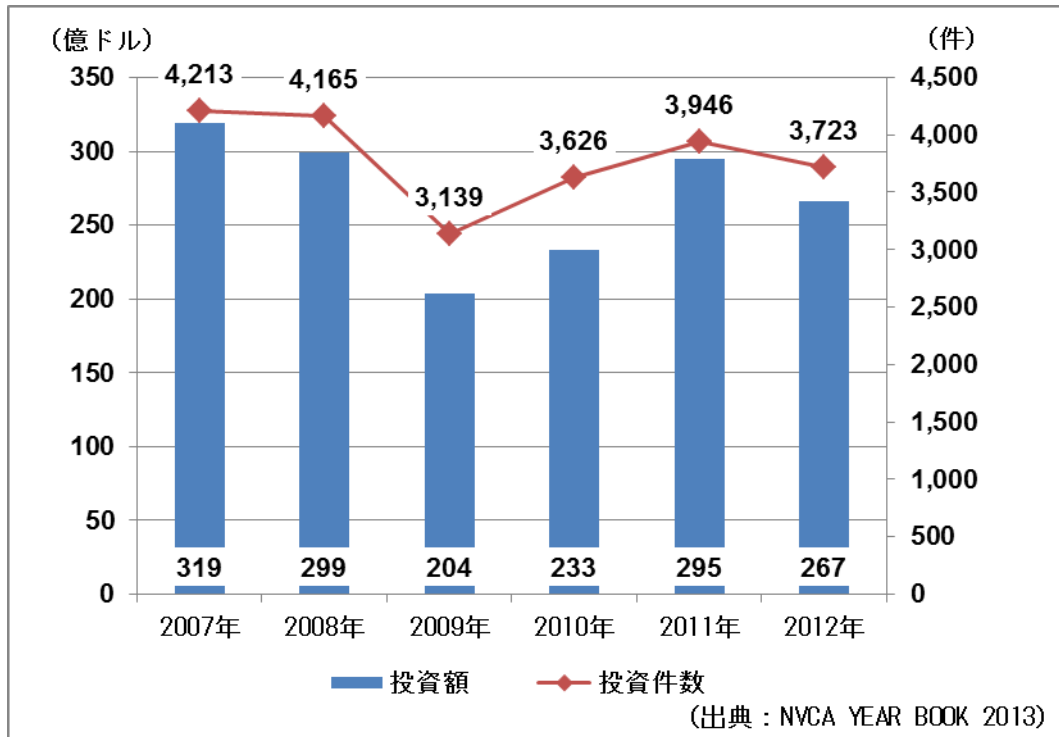
(注) 当年と前年の2期とも回答している会社をサンプルとして集計

図表4 新規および追加投資先のステージ分布の変化（金額比率）



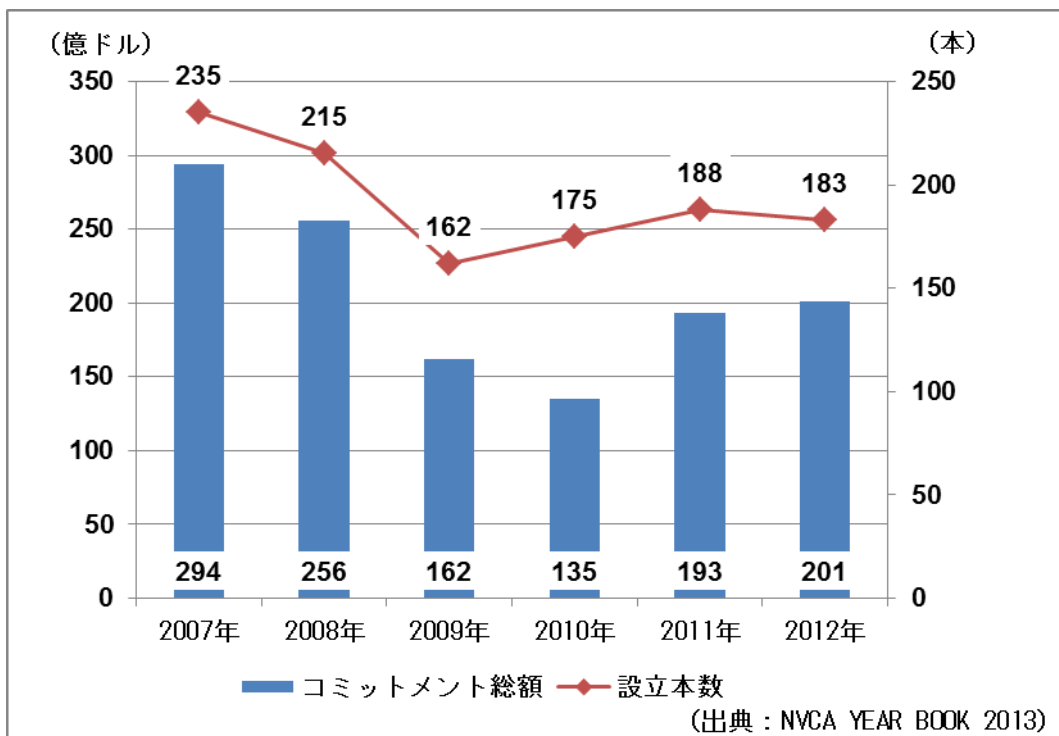
(注) 当年と前年の2期とも回答している会社をサンプルとして集計

図表5 アメリカにおける年間投資額の推移



(注) 暦年 (1月～12月)

図表6 アメリカにおけるファンド組成状況の推移



(注) 暦年 (1月～12月)